

[okazaki_34]

活動タイトル	消費生活リーダー養成講座で「地球に優しい実践活動」として講座実施
実施日	2008年9月1日
場所	北海道消費者協会（札幌市）
対象数	
内容	<p>ここ数年、毎年、北海道消費者協会が実施する消費生活リーダー養成講座の一コマを担当しています。この講座は、前期・中期・後期の三期からなっており、それぞれ午前午後各2時間の講座が2週間ずつ行われるものです。参加する方は、道内各地で消費生活に関わる活動をしておられる方や、消費生活に関心を持つ方達です。遠方の方は、札幌に泊まって、または、列車や車で通って、と熱心に学んでおられます。</p> <p>講座の内容としては、まず、地球環境問題、地域環境問題、廃棄物・3R問題、省エネルギー・省資源問題がそれぞれ重なり合っていることを確認した上で、温暖化懐疑論についても触れ、化石燃料が有限であること、二酸化炭素は、化石燃料使用の指標であることから、低炭素社会の構築は、必須であることをお話ししました。</p> <p>次に、家庭の用途別のエネルギー消費／二酸化炭素排出量を示し、大きなウエイトを示す自動車について、特に、急加速・急減速を避けることの必要性とそのポイントなど、具体的に説明しました。その他に、家庭でできる省エネについて次のようなことをお話ししました。</p> <ul style="list-style-type: none">・待機電力を減らす・省エネ家電を選ぼう（省エネラベル・トップランナー制度の説明）・地産地消のすすめ・グリーンコンシューマーの10原則・環境ラベルの説明（特に、最近のラベルについて）・保温調理の説明 <p>さらに、社会の動きと法律や条令などの関係を伝え、行政の動きをより確かなものにするための市民の取り組みの必要性をお話ししました。</p> <p>最後に、8割以上の方が古い携帯電話をリサイクルに出さずに保管しておられることがわかり、携帯電話に含まれる金属やエコリュックサックについて説明したところ、早速、リサイクルに回すという声が聞かれました。</p> <p>使用資料：STOP THE 地球温暖化 2008（環境省） ガソリン節約のツボ（北海道経産局） 1人1日1.1kgの削減シート（（財）北海道環境財団）</p>

実施写真等